

福祉レクリエーション論

専門教育科目／4単位／T授業

担当教員 松田 智香子

■使用テキスト

吉岡尚美・茅野宏明 他（著）『よく分かる福祉レクリエーション・サービス実施マニュアル 1 楽しさの追求を支える理論と支援の方法』公益財団法人日本レクリエーション協会

◆参考テキスト

講義概要・一般目標

支援の対象者の楽しさを理解し、その追求方法としての福祉レクリエーション援助の理論と実践方法を理解する。また、福祉レクリエーション援助において、説明責任、支援のエビデンスの明示等といった現代に求められる福祉サービスの課題に応える福祉レクリエーション援助の理論と実践を理解する。

到達目標

- 1) 人間の生活と楽しさの関連性と楽しさの多様性について理解し、福祉レクリエーションにおける楽しさについて説明できる。
- 2) 福祉レクリエーション支援の使命と姿勢、役割、必要な技術について説明できる。
- 3) 個人援助の手順(A-PIE)プロセスについて説明できる。
- 4) 行動変容の理論と実践方法、及び福祉レクリエーション支援における利用者の変化を促す方法について説明できる。
- 5) 高齢者、障がい児・者、児童等、利用者に応じたレクリエーション支援における必要な知識や技術について説明できる。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

第1章 楽しさを追い求める ～福祉レクリエーション支援の理解～

第1節 福祉レクリエーションと楽しさ

この節でのポイント

人間の生活と楽しさの関連性、楽しさの多様性、レジャー・レクリエーションに関する理論を基に、福祉レクリエーションにおける「楽しさ」に関する理論を理解する。また、楽しさの理解を通して、利用者の楽しさを洞察する力について理解する。

第2節 楽しさ追求を支える支援者の営み、支援者の役割と心構え、そして技術

この節でのポイント

楽しさの追求を支援する福祉レクリエーション・ワーカーの使命と姿勢、役割、必要な技術について理解する。

第2章 楽しさ追求の支援の根拠 ～理論に裏付けられた支援

第1節 個人支援の手順 ～APIE プロセス～

この節でのポイント

個人支援の手順（APIE プロセス）について理解する。

第2節 総合的な支援の流れ ～TR サービスモデル～

この節でのポイント

セラピューティック・レクリエーション（TR）のサービスモデルを用いた総合的な支援の流れについて理解する。

第3節 行動変容と自己効力感～行動変容に向けた効果的なレクリエーション支援～

この節でのポイント

行動変容についてその理論と実践方法を理解し、福祉レクリエーション支援における利用者の変化を促す方法について理解する。

第3章 楽しさ追求の支援の実際 ～福祉レクリエーション支援の実例研究～

第1節 高齢者を対象にした福祉サービスでの実践例

この節でのポイント

高齢者を対象にした福祉サービスでの実践例を基にして、利用者の目標達成のためのレクリエーション・サービスにおいて必要な知識や実践について総合的に理解する。

第2節 障がい児・障がい者を対象にした福祉レクリエーション支援

この節でのポイント

障がい児・障がい者を対象にした福祉レクリエーション支援において、利用者の目標達成のための必要な知識や実践について総合的に理解する。

第3節 子育て支援サービスでの福祉レクリエーション支援

この節でのポイント

子育て支援を対象にした福祉レクリエーション支援において、利用者の目標達成のための必要な知識や実践について総合的に理解する。